

おもてなしの手しるし イラスト手話会話帳

事前の準備

- まず「手話ができない」ということを伝える。
- 「筆談できます」「筆談ボードあります」などの案内状をおく。

会話実例① 宿などの窓口

案内人「ようこそ 京都へ」



観光客「お世話になります」



案内人「楽しんでください」



おもてなしのあいさつ ～手話の基本フレーズ～

- 表情なども大切な表現になります。
- あいさつの際は笑顔で。

ようこそ 京都へ



気をつけて／楽しんで ください



ありがとう



どういたしまして



お疲れさま



いってらっしゃい



さようなら



何か お困り ですか？



おはよう



こんにちは



こんばんわ



お手伝い しましょうか？



会話実例② 観光窓口

案内人「何か お手伝い しましょうか？」



案内人「一緒に 行きましょうか？」



案内人「筆談も できます」



湾曲させた右手の指先を左胸にあててから右胸にあてる



観光客「わかりました」「ありがとうございます」



案内人「楽しんで ください」



緊急の手話

緊急時に手話ができない場合でも、この会話帳を指で示すなど、手段は問いませんのでなんとか伝えてください。

危ない



停電



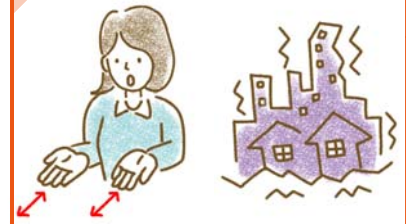
トイレ



火事です



地震です



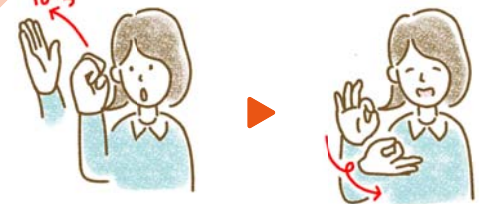
すぐに きて ください



逃げて ください



忘れ物



救急車を 呼んで ください



電話 / 110番を お願いします

